

4833号

2013年1月8日

伝書鳩

全国一般労組・全国協議会
安倍川製紙労働組合
静岡市葵区田町3-5-6
電話 054-271-7302
岩淵構内電話 340
abekawarouso@room.ne.jp

王子Gの従業員一割削減

先月の中央労士委員会で影響を質問

12月12日の中央労使委員会で組合は11月23日に報道された王子ホールディングがグループの従業員約一割削減計画について(右は23日の朝日新聞)王子エフテックスなどの影響について質問しました。

会社 具体的には今後検討する

会社からは

- ① 数年後に定年を迎える人が大量に出るため、小さな痛みで実施できる。
 - ② 人数の目標を掲げただけで、具体的な内容についてはこのあと検討することになる。
- というものでした。

王子HD、社員2千人削減

紙の国内需要が低迷

製紙最大の王子ホールディングスは22日の経営説明会で、2015年度末までにグループ全体の国内従業員数の約1割にあたる約2千人を減らすと発表した。インターネットの普及などで紙の国内需要が低迷しているため、人員削減で効率化をはかる。

新規採用は続けるが、定年退職者の数を下回る規模にとどめ、国内で約2千人減らす。希望退職を募ることとはしない。

今後の需要が見通しより悪化する場合は、さらに国内事業を見直し、製造ラインの一部休止や工場の閉鎖も検討する方針という。

再雇用、今年の4月からは義務

定年者という話が出たのでさらに組合は今年(労使委員会の時点では来年)の4月からは法律が変わり希望すれば65歳までの再雇用が義務付けとなる。東海工場などでは再雇用を希望しない人がほとんどだったようだが、このあとは変化もあるだろう。と、会社の考えを質問しました。

会社 変更を組合に提示、協議をしたい

会社は、

- ① これまでは年金支給を65歳に変更する経過措置として一部支給があり、再雇用対象者も三交替であるなど、再雇用を希望する人がいなかったが、今後は年金支給が65歳ま

ウラにつづきます↓

で全くなくなり、三交替以外の人も低年を迎える。

②4月からの法律に合わせて会社としても就業規則を変更しなければならない。準備が整い次第組合に提示し、協議を行いたい。

とのことでした。年金の支給を遅らせることは大きな問題ですが、それとは別に、65歳まで元気に働き続けられる職場づくりも大切な課題です。